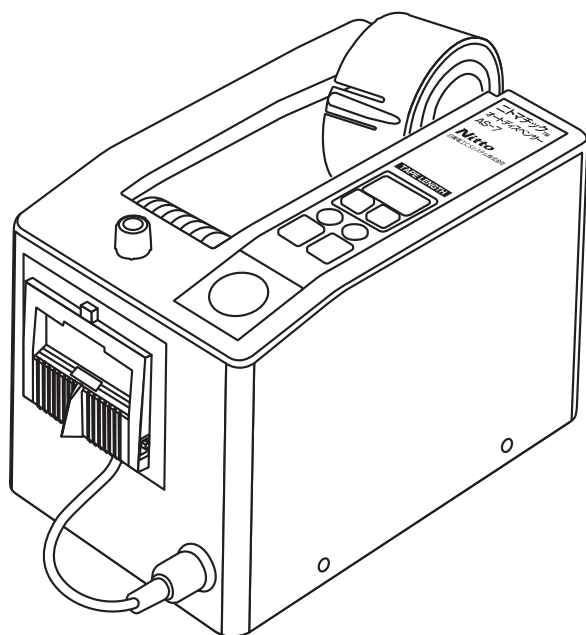


ニトマチック

AS-7

オートディスペンサー (オートフィードカッター付)

取扱説明書



日東電工CSシステム株式会社

はじめに

- このたびは、ニトマチック オートディスペンサーをお買い上げいただきありがとうございます。
はじめに、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 裏面に記載されている保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめください。
- 修理を依頼される場合は、必ず裏面の修理依頼書に必要事項をご記入の上製品に同梱してお送りください。

も く じ

■安全上のご注意	3
■各部のなまえとはたらき	5
■使いかた	
お使いになる前に	7
テープのセット	7
プレッシャーつまみの調整	8
テープ長さの設定	9
テープ長さの変更	9
手動送り（キー操作）で使用する	9
自動送り（オートフィード）で使用する	10
オートフィードカッターユニットのしくみ	10
テープの交換方法	12
オートフィードカッターユニットの交換方法	12
■こんなとき	
こんなとき	13
テープが詰まったときの取り出しかた	16
■別売部品の交換方法	
カッター刃の交換	17
テープ押さえガイドの使用	18
はくりローラーユニットの交換	19
■別売部品・消耗品	20
■展開図	21
■推奨常備パーツ・部品一覧	23
■お手入れの方法	32
■保守・点検・サービス	32
■仕様	33
■保証書	34
■修理依頼書	巻末

安全上のご注意

(おまもりいただくこと)

△警告：場合により、重傷を負うおそれがあります。必ずお守りください。



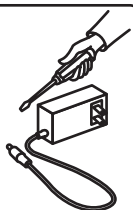
警告



ACアダプターの分解・修理・改造をしない

禁止

火災・感電・故障の原因になります。



テープの出口に指を入れない

禁止

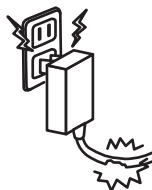
カッター刃に触れてけがをすることがあります。



ACアダプター、コンセントが破損したまま、ゆるんだまま、ホコリが詰まったまま使用しない

禁止

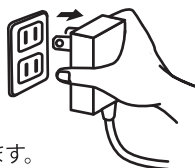
火災・感電・故障の原因になります。



AC100V～240V以外の電源では使用しない

禁止

火災・感電・故障の原因になります。



幼児が触れない場所に設置して、ご使用ください。

△注意：場合により、傷害や損害を被ることがあります。必ずお守りください。



注意



紙や布などを本機の上にかぶせたり置いたりしない

禁止

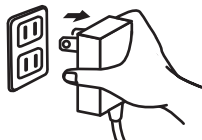
故障・発煙などの原因になります。



部品交換や設置場所を移動するときは、電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜く

ACアダプターを抜く

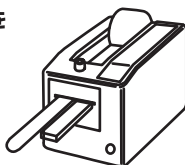
誤ってキーを押すと、作動して危険です。



テープの出口に棒などを差し込まない

禁止

カッターが故障することがあります。



強い衝撃を与えない

禁止

故障・破損の原因になります。

※本体を持ち運ぶ場合は必ず本体底面より持ち運んでください。落とした場合、ケガをすることがあります。



本体は、ABS樹脂ですので、工業用油やシンナー・ベンジンなどで拭かない

禁止

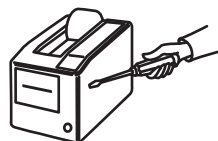
破損することがあります。



ご自分で分解・修理・改造はしない

禁止

故障・発煙などの原因になります。



警告



引火性のもの
引火性のものの近くで
使用しない
(可燃性ガススプレー等含む)

禁止

発火することがあります。



塩素ガス等、腐食性ガスの発生する
環境下では使用しないでください。

禁止

電子部品の劣化により、故障する
原因となります。



警告

必ず付属のACアダプターをご使用ください。
指定外のACアダプターを使用した場合は、火災・事故の原因となります。



注意

長期間使用しない場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

使用上のご注意

機械のトラブルを避け本機の故障を未然に防止するために、下記の事項を必ずお守りください。

- ・故障のまま本機を使用しないでください。(使用中や保管時に異臭を感じたり、発熱、変色変形、その他) 今までと異なることに気づいたときは、ACアダプターをコンセントから抜き、直ぐに使用を中止してください。大きな容量を必要とする機器(冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等)とコンセントは共有しないでください。
- ・ご購入時の状態を維持するため、定期メンテナンス、消耗品の交換が必要です。

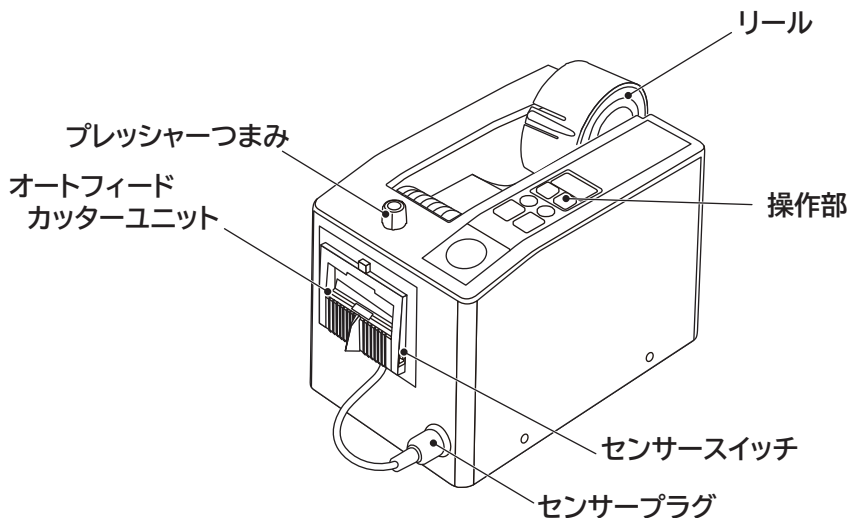
■トラブルの原因になりますので、次のような場所では使用及び保管はしないでください。

- ・温度が5℃以下、40℃以上になる場所で使用しないでください。
- ・温度が0℃以下、40℃以上になる場所で保管しないでください。

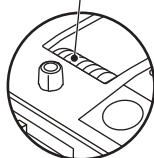
■本製品が対応できない場合があるテープ: 著しくカールが強い粘着、展開力が強い、薄い、滑る、静電気が起きやすいテープ。または非粘着テープ。伸縮性のあるテープ、透明度が高いテープを一定の長さにカットすることはできません。一般的なテープでも本製品に使用できないテープも多数ございます。ご使用のテープが使用できない場合は、当社または販売店にご相談ください。

各部のなまえとはたらき

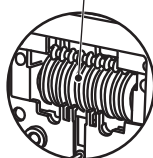
本体の説明



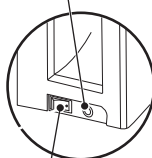
送りローラー



はくりローラー



DCジャック



電源スイッチ

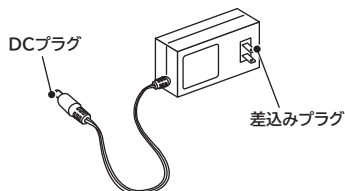
【付属品】



取扱説明書

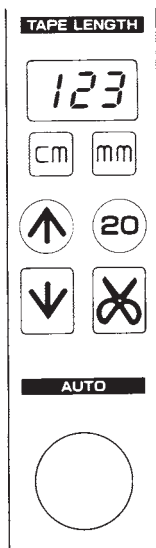











シリコンオイル5cc 1本



ACアダプター

操作部の説明




<p>●電源スイッチ</p> <p>OFF ON ONの側を押すと電源が入ります。</p> 	<p>●送りキー</p>  キーを押している間、テープが出ます。
<p>●表示部</p> <p>TAPE LENGTH 最大3桁(999mm)までテープの長さを表示します。</p> 	<p>●カットキー</p>  キーを押すと、テープをカットします。
<p>●サイズキー</p> <p>mmキーを押すと、mmの単位1桁(0~9mm)を設定できます。cmキーを押すと、cmの単位2桁(20mm~990mm)を設定できます。</p> 	<p>●オートキー</p> <p>AUTO</p>  キーを押すと、表示中の設定長さにテープを1回自動送りし、自動カットします。
<p>●リバースキー</p>  送りローラーが逆転します。テープ交換時などにご使用ください。	<p>※テープ長さを120mm以上に設定する場合は、作業台等にテープが接着する恐れがあります。「手動送り」での使用を推奨します。</p>
<p>●プレッシャー(圧力)つまみ</p>  テープの押さえ圧力をテープに合わせて調整できます。	<p>●リセットキー</p>  寸法表示を最初の値20mmに戻します。

使いかた

お使いになる前に

1. 電源スイッチを、「OFF」にしてください。
2. オートフィードカッターのセンサースイッチを「OFF」にしてください。

 電源「ON」のままですと、誤ってキーを押したとき作動して危険です。

3. オートフィードカッターのセンサープラグを本体に差し込んでください。
4. ACアダプターのDCプラグをDCジャックに差し込み、ACアダプターをコンセントに差し込んでください。

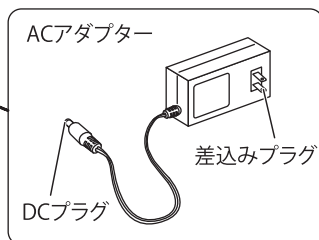
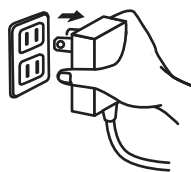


図 1

図 2

5. 電源スイッチを「ON」にします。
始めの表示「20」が表示されます。(図3)
登録できるテープの最低の長さ「20mm」の意味です。

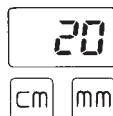


図 3

テープのセット

1. 電源スイッチを「OFF」にします。
2. リール(軸)を、後方へ引き抜き、はずします。
3. テープをリールにはめ込み、本体にセットします。
*テープがリールの中央に位置するようにセットしてください。曲がった状態でセットするとテープがつまる場合があります。
4. テープの先端を、送りローラー(銀色のローラー)の中央に貼りつけ、しっかりなじませます。
*幅の広いテープの場合はテープの先端の角を折り曲げるとスムーズに送り出しができます。(図4)
5. 電源スイッチを「ON」にします。

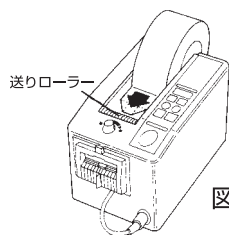




図 4

6. 送りキー  を少しずつ、数回に分けて押しテープを送ります。(図5)
*送りキー  を押ししている間だけテープが送られます。

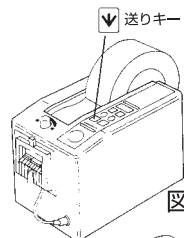



図 5

●テープが出てこないときは、
☐13ページを参照してください。

7. オートフィードカッターユニットのテープ出口から、テープを3~4cm程度出してください。
8. カットキー  を押ししてください。
テープがカットされますので、カットされたテープを取り除いてください。(図6)

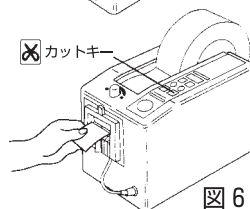
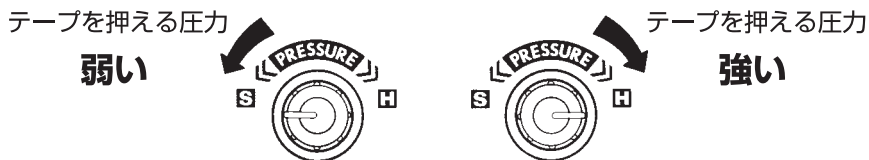


図 6

プレッシャーつまみの調整

プレッシャーつまみは、テープが正しく送り出されるように、テープを押さえているローラーの圧力を調整するための機能です。



1. テープの材質・特性にあわせて、テープを押さえる圧力を調整してください。

テープの種類	プレッシャーつまみの調整目安
セロハンテープ クラフト粘着テープ 布粘着テープ PPテープ	
片面はくり紙付き両面テープ (厚さ0.5mm以下) フィラメントテープ クレープテープ	

※テープによって効果がない場合があります。

2. 送りキー を押し、テープを出して調子を確認してください。
3. 次のような場合、プレッシャーつまみの調整が、テープの材質・特性に合っていないことがあります。状況に応じて調整してください。

状 況	押さえ圧力	プレッシャーつまみの調整
テープが出てこないで詰まる	弱すぎる	(H) の方向へ強める
	強すぎる	(S) の方向へ弱める
テープがカールして出る	弱すぎる	(H) の方向へ強める
テープが垂れ下がって出る	強すぎる	(S) の方向へ弱める
テープに強い筋目が刻まれる	強すぎる	(S) の方向へ弱める



* テープを正しく送り出すために、ある程度の押さえ圧力が必要です。テープの種類により、プレッシャーつまみで調整しても筋目が出る場合があります。


※テープによって効果がない場合があります。

使いかた

テープ長さの設定

一定の長さで切るために、寸法を設定します。

1. サイズキー   を押して、必要な長さに設定してください。

■  を押すと、0mm～9mmまでの、下1桁のmmの数字だけ変更できます。


■  を押すと、2cm～99cmまでの、上2桁のcmの数字だけ変更できます。

■ サイズキーを、押しつづけると、数字を早送りできます。

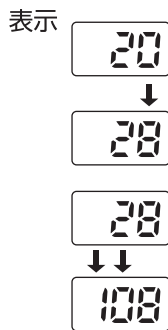
* 始めの表示20mm以下には設定できません。

* 数値メモリー機能により電源をOFFにしても、設定値は記憶されています。

【例】108mm(10.8cm)にセットする。

①  キーを押して、下1桁を「8」に変更します。



②  キーを押し続けて早送りし、上2桁を10に変更します。





* テープ長さを120mm以上に設定する場合は、作業台等にテープが接着する恐れがあります。手動送り(キー操作)での使用を推奨します。

テープ長さの変更

1. オートフィードカッターユニットのセンサースイッチを「OFF」にしてください。

2. リセットキー  を押して、始めの表示  に戻してください。



3. サイズキー   を押して、必要な長さに設定してください。

手動送り(キー操作)で使用する

1. オートフィードカッターユニットのセンサースイッチをOFFにします。

2. オートキーを押してください。

3. 設定した長さのテープが送り出されて、カットされます。

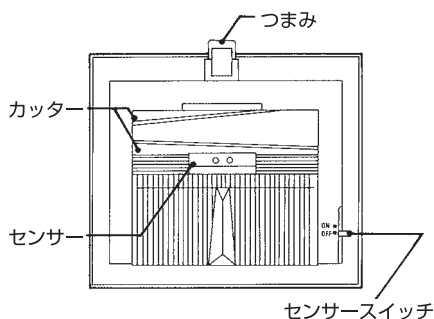
* 設定した長さ以外に、いろいろな長さで出す場合は、送りキー  と、カットキー  を利用してください。

自動送り(オートフィード)で使用する

センサーを利用して、自動送りができます。

1. オートフィードカッターユニットのセンサースイッチをONにします。
2. 設定した長さのテープが送り出されてカットされます。
3. 出口のテープをお取りください。
4. 次のテープが自動的に設定された長さで出てきてカットされます。

オートフィードカッターユニットのしくみ



■カッター(刃)と、センサーが一体になったユニット部品です。

■センサーは、テープ出口にテープがあるか、無いかを検知する機能があります。(スイッチONの時)

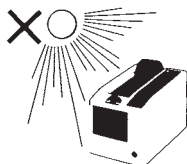
■テープが無いと検知したとき、本体に、次のテープの送り出しとカットを指令します。

* 透明なテープのとき、テープがセンサーからズレたときなどテープを検知できず、送り出しが止まらなくなることがあります。



* 光源の種類によって異なりますが、明るい場所でご使用になりますと、センサーが誤作動することがあります。

センサーの機能を妨げない明るさ目安


- ・蛍光灯：3,000lx以下
- ・LED照明：10,000lx以下
- ・太陽光：10,000lx以下




LED表示部にエラー表示(Errが点滅)されたら

1. 作動に何らかの不都合が生じたとき、LED表示部に“Err”と表示(点滅)します。
2. オートフィードカッターユニットのセンサースイッチは「OFF」にします。
3. エラー表示“Err”の解除(リセット)方法は、リセットキー  を押すと、20mmの初期設定値にもどります。
4. エラー表示中の作動は、リバースキー  のみ有効です。テープが詰まったとき等は、リバースキーを押して、詰まったテープを取り除いてから解除(リセット)してください。

電源スイッチを「ON」にしたときの長さ表示について

1. それまで表示されていた値(たとえば100mmで使用)のまま電源を「OFF」にすると、次に電源を「ON」した際、再度100mmで表示されます。常に同じ長さで使用される場合、または翌日の再使用等、非常に便利な機能です。
2. 表示長さの変更は、リセットキー  を押すことにより、いつでも20mmの初期設定値にもどります。

初期状態に戻すには(電氣的ノイズによる異常等の解除)

1度電源を「OFF」にし、リセットキー  を押しながら、再び電源を「ON」にしてください。

※それでも症状が変わらない場合、販売店へご相談ください。

ご使用後の保管について

テープ詰まり防止の為、作業終了時は必ずテープを外してください。始業時にテープがセットされている場合は、取り外して先端から50mmをハサミでカットして、セットし直してください。

使いかた

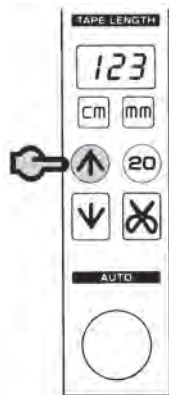
注
意



部品交換のときは、必ず、電源スイッチとセンサースイッチをOFFにして、ACアダプターをコンセントから抜いてください。誤ってキーを押した場合、作動すると危険です。

テープの交換方法

1. オートフィードカッターのセンサースイッチを「OFF」にしてください。
2. テープを逆転させます。
リバースキー(↑)を、少しずつ押してください。
3. テープを交換してください。



オートフィードカッターユニットの交換方法

■取りはずし方法

1. センサープラグをまっすぐに引き抜きます。(図1)
2. オートフィードカッターユニットの上のつまみを押さえながら手前に引くと、はずれます。(図2)

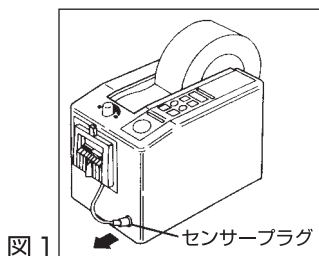


図1

■セット方法

1. センサースイッチを「OFF」にしてください。
2. カッターの下刃が下にさがっていることを確認してください。
上がっている場合は、ドライバーなどで刃をさげてください。(図3)
3. オートフィードカッターユニットの下部を本体に合わせてから、上部を押し込んでください。
4. 両プラグの▲マークを合わせて、差し込んでください。(図4)

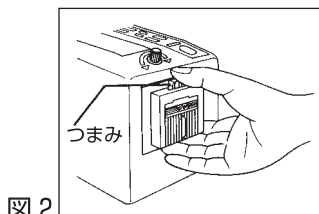


図2

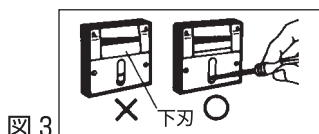


図3

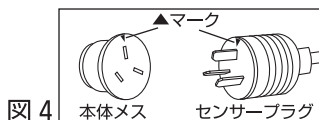


図4

こんなとき

●故障かな?と思った時は、修理をご依頼の前に、下記の点をお調べください。

注意



異常がある場合は、ご自分で修理しないでください。
異常作動などにより、ケガをすることがあります。

症 状	要 因	処 置
テープが出てこない・詰まる	カッター(刃)が正しくセットされていますか? (替刃の交換をしましたか?)	オートフィードカッターユニットをはずして、正しくセットしなおしてください。 ☞12・17・18ページ参照
	オートフィードカッターユニットの中にテープが詰まっていますか?	オートフィードカッターユニットをはずして、確認してください。 ●詰まったテープの取り出しかた ☞16ページ参照
	テープが、出口の上側にあたる時 (押さえる圧力が不足しています)	プレッシャー(圧力)つまみを(H)の方向へ強めてください。 または、はくりローラーが摩耗しているので交換してください。
	テープが、出口の下側にあたる時 (押さえる圧力が強すぎます)	プレッシャー(圧力)つまみを(S)の方向へ弱めてください。
	テープが、はくりローラーと一緒に巻き込んでしまうとき	プレッシャー(圧力)つまみを(S)の方向へ弱めてください。
	テープの粘着剤が、シリコン系の時	そのテープは使用できません。
	テープをセットしたまま長時間使用しないで放置しましたか? テープが貼りついていることがあります。	テープを取り外して先端より50mmをカットしてからセットし直してください。
	テープ巻からテープをはがす時に、強い力が必要ではありませんか?	テープ巻からはがしにくいテープは、使用できない場合があります。
カッターが切れ ない	カッター(刃)に粘着剤がついていませんか?	除光液やアルコールなどで拭いて粘着剤を取り除いてシリコンオイルを塗布してください。
	テープの切り口が不揃いですか?	カッター(刃)が摩耗していますので交換してください。
	カッター(刃)を時々、交換していますか?	 ☞12・17・18ページ参照
	カッター(刃)が正しくセットされていますか? (替刃の交換をしましたか?)	オートフィードカッターユニットをはずして、正しくセットしなおしてください。
	オートフィードカッターユニット裏の、カッタースプリング(板)のネジがゆるんでいませんか?	 ☞12・17・18ページ参照

こんなとき

注意



異常がある場合は、ご自分で修理しないでください。
異常作動などにより、ケガをすることがあります。

症 状	要 因	処 置
テープがカールする	テープを押さえる圧力が不足しています。	プレッシャー(圧力)つまみを(H)の方向へ強めてください。 または、はくりローラーが摩耗しているので交換してください。 ☞19ページ参照
テープの長さが設定どおりに切れない	テープ幅が細いとき	別売部品「テープ押さえガイド」で補正できます。 ☞18ページ参照
	両面テープのとき (設定より長めになります)	
	紙テープのとき (設定より長めになります)	別売部品「弱粘着アタッチメント」で補正できます。
	粘着力の弱いテープのとき	
	伸び縮みするテープのとき (設定より短めになります)	伸び縮みするテープは、一定の長さには送れないので、正確にカットすることはできません。
自動送り(オートフィード)にならない (キー操作はできるとき)	本体の電源がはいっていますか？	電源プラグ、電源スイッチを確認してください。
	オートフィードカッターユニットのプラグが差し込まれていますか？	プラグを正しく差し込んでください。
	オートフィードカッターユニットのスイッチが「ON」ですか？	センサースイッチを「ON」にしてください。
	センサー部分が汚れていませんか？	綿棒や歯ブラシなどで汚れを取り除いてください。
	すべて確認したのに作動しないとき	故障が考えられます。 オートフィードカッターユニットを交換してください。
テープがリールにピッタリはめこまれず、テープが動く	テープの内径は、製造メーカーにより異なるので、合わない場合があります。	リールにテープを巻くなどして、リールの径を調節してください。
オートフィードカッターユニットが、はずれる	オートフィードカッターユニット裏の、カッター Springs(板)のネジがゆるんでいませんか？	はずして、確認してください。 ☞12・17・18ページ参照

注意



異常がある場合は、ご自分で修理しないでください。
異常作動などにより、ケガをすることがあります。

症 状	要 因	処 置
自動送り(オートフィード)が止まらずに、テープが出続ける ↓ スイッチを、OFFにして止めてください。	テープが、センサーの中央を通過していますか？	テープがセンサーの中央上を通過するように、セットしてください。 別売部品 「テープ押さえガイド」で、補正できます。 ☞18ページ参照
	照明器具などの、強い光源が近くにありませんか？	強い光源から離すか、センサーを光源のほうへ向けないように設置してください。 ☞10ページ参照
	透明なテープのとき	透明度が高いと、センサーが検知できないことがあります。
	黒いテープのとき	販売店にご相談ください。
	上にカールするテープのとき	販売店にご相談ください。
	テープの種類にかかわらず、止まらないとき	センサーの故障が考えられますので、オートフィードカッターユニットを交換してください。
プレッシャーつまみが動かない	(H)か(S)のどちらかの方向にいっぱいまで回していませんか？	つまみを持ち上げるようにして、回してみてください。
どのキーを押しても全く動かない 何も表示しない	本体の電源がはいっていますか？	ACアダプター、電源スイッチを確認してください。
	ACアダプターが故障している。	販売店にご相談ください。
Err と表示される	テープが詰まっていますか？	テープを取り除いて、リセットキーを押してください。 長さの設定をもう一度行ってください。
	作動させるとすぐErrになる。	作動させた部品の故障です。 修理依頼をしてください
	高温な場所で使用していませんか？	制御基盤は熱に弱いので、高温のため異常を示すことがあります。
	しばらく使用しているうちに、急にErrになったとき	制御基盤の故障です。 制御基盤を交換修理する場合、他の修理より高額になります。


こんなとき

注意



必ず電源をOFFにしてください。カッターが作動して危険です。刃に触れないでください。ケガをします。


テープが詰まったときの取り出し方

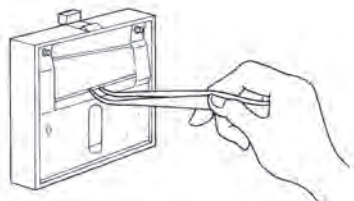
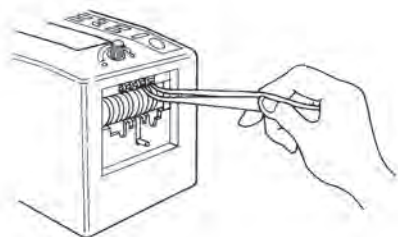
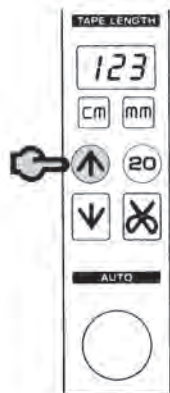
1. テープを逆転させます。
リバースキー  を、少しずつ押してください。
2. セットされているテープを送りローラーからはずしてください。
3. 戻した部分をハサミなどでカットしてください。

■テープが戻らないときは

1. 電源スイッチをOFFにしてください。
2. テープの途中を、ハサミなどで切ってください。
3. 出口付近に詰まったテープを、ピンセットなどで、取り除いてください。
鋭利な刃物等は使用しないでください。
剥離ローラーを破損させる恐れがあります。

■オートフィードカッターユニットの中の カッターのすきまに、テープが詰まる ことがありますので、調べてください。

1. オートフィードカッターユニットを
はずしてください。
●はずしかた  12ページ
2. ウラ側の刃のすきまを確認してください。
3. テープを取り出すときは、直接手を
触れずに、ピンセットなどを利用して
ケガをしないようご注意ください。
4. カッター刃を除光液やアルコールなどで
拭き、シリコンオイルを塗布してください。



注意



必ず電源をOFFにしてください。カッターが作動して危険です。刃に触れないでください。ケガをします。

別売部品の交換方法

■別売部品は、お買上げの販売店にご注文ください。 ㊦20～31ページ参照

注
意



部品交換のときは、必ず、電源スイッチとセンサースイッチをOFFにして、ACアダプターをコンセントから抜いてください。誤ってキーを押した場合、作動すると危険です。

カッター刃、カッタースプリング、カッターライナーの交換

※詳しくは、部品に添付の説明書をお読みください。

1. オートフィードカッターユニットをはずしてください。(図1-1、1-2)

2. ネジ2本をはずし、カッタースプリング(押さえ板)を取り除いてください。(図2)

3. カッター刃をはずしてください。(図3、4)

4. カッターライナーをはずしてください。

5. 新しいカッターライナーを取り付けてください。溝に正しく入っているか確認してください。(図5)

* グリスを塗布してください。

6. 新しいカッター下刃をカッターライナーの上のせてセットします。フッ素コーティング面(ツヤのない黒い面)を上にしてください。半円形の欠けこみが左下にきます。カッターライナーの中央にのせて下のほうにスライドさせてください。(図6、7)

7. 新しいカッター上刃をセットします。塗装面(ツヤのある面)を上にしてください。カッター上刃の穴をカッター止めシャフトに差し込んでください。(図8)

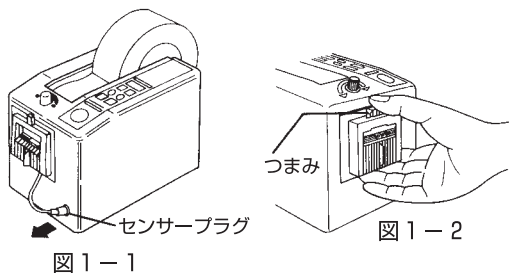
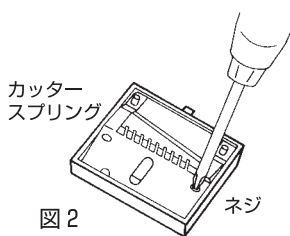


図1-1

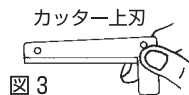
図1-2



カッター
スプリング

ネジ

図2



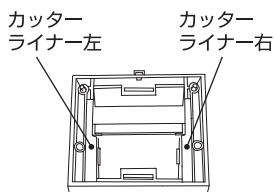
カッター上刃

図3



カッター下刃

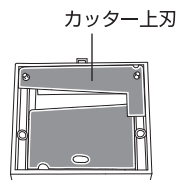
図4



カッター
ライナー左

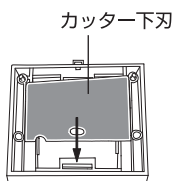
カッター
ライナー右

図5



カッター上刃

図8



カッター下刃

図6

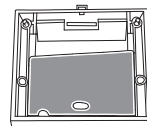


図7

別売部品の交換方法

■別売部品は、お買上げの販売店にご注文ください。☞20～31ページ参照

注意



部品交換のときは、必ず、電源スイッチとセンサースイッチをOFFにして、ACアダプターをコンセントから抜いてください。誤ってキーを押した場合、作動すると危険です。

カッター刃、カッター Springs、カッターライナーの交換

※詳しくは、部品に添付の説明書をお読みください。

8. 新しいカッター Springs (押さえ板) をセットします。半円形の欠けこみが左にきます。(図9)

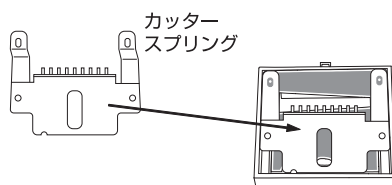


図9

9. ネジ2本でしっかり止めてください。

*1ヶ月に1度ネジのゆるみを点検してください。(図10)

*カッターの向き/表裏を反対にセットするとテープは切れません。



カッターの刃に触れないようご注意ください

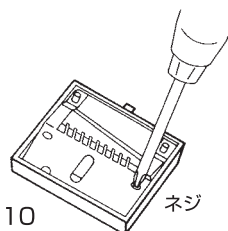
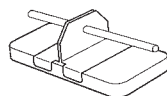


図10

テープ押さえガイドの使用

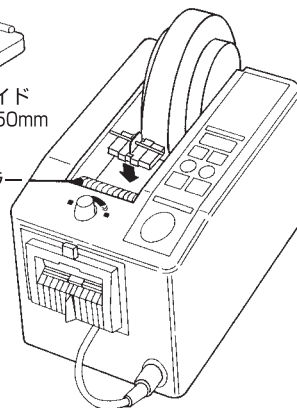
*テープ幅の細いテープをご使用のとき、センサーからはずれやすいテープのとき、テープ走行の補正に効果的です。

1. 送りローラーと、リールの間の平らな面に貼り付けます。
2. テープ幅に合わせて、テープが中央を通るように両サイドの金具をスライドさせ位置を決めてください。
3. テープ押さえガイドにテープを通してご使用ください。



テープ押さえガイド
テープ幅7mm～50mm

送りローラー



別売部品の交換方法

■別売部品は、お買上げの販売店にご注文ください。 ㊦20～31ページ参照

注
意



部品交換のときは、必ず、電源スイッチとセンサースイッチをOFFにして、ACアダプターをコンセントから抜いてください。誤ってキーを押した場合、作動すると危険です。

はくりローラーユニットの交換

1. オートフィードカッターユニットをはずしてください。
はずしかた ㊦12ページ
2. 図1の、矢印のネジ①・②を、(+)
ドライバーではずします。
3. はくりローラーのゴムリングの中央部を指でつまんで、手前に引くと、はくりローラーホルダーユニットがはずれます。(図1)
4. ローラーユニットの左右のネジをはずして、ギヤとカラーをローラー軸から抜きとります。(図2)
5. 新しいローラーユニットをホルダーに合わせ、ギヤとカラーをローラー軸の形状にあわせて差し込み、それぞれネジで止めてください。
ギヤ : 右側/長いほうのネジ
カラー : 左側/短いほうのネジ
ギヤとカラーの左右を確認してください。
逆にセットするとローラーが逆転します。
6. はくりローラーホルダーユニットを、本体にセットし、ネジ2本で止めてください。

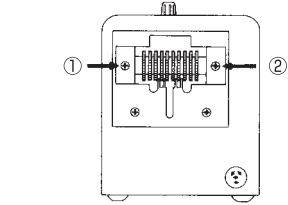
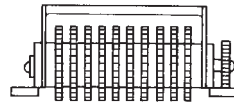


図1



はくりローラー・ホルダーユニット

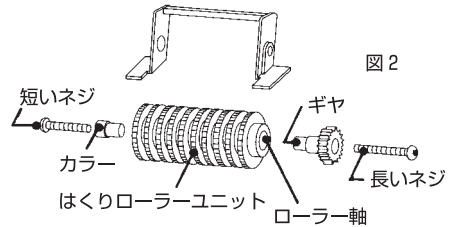
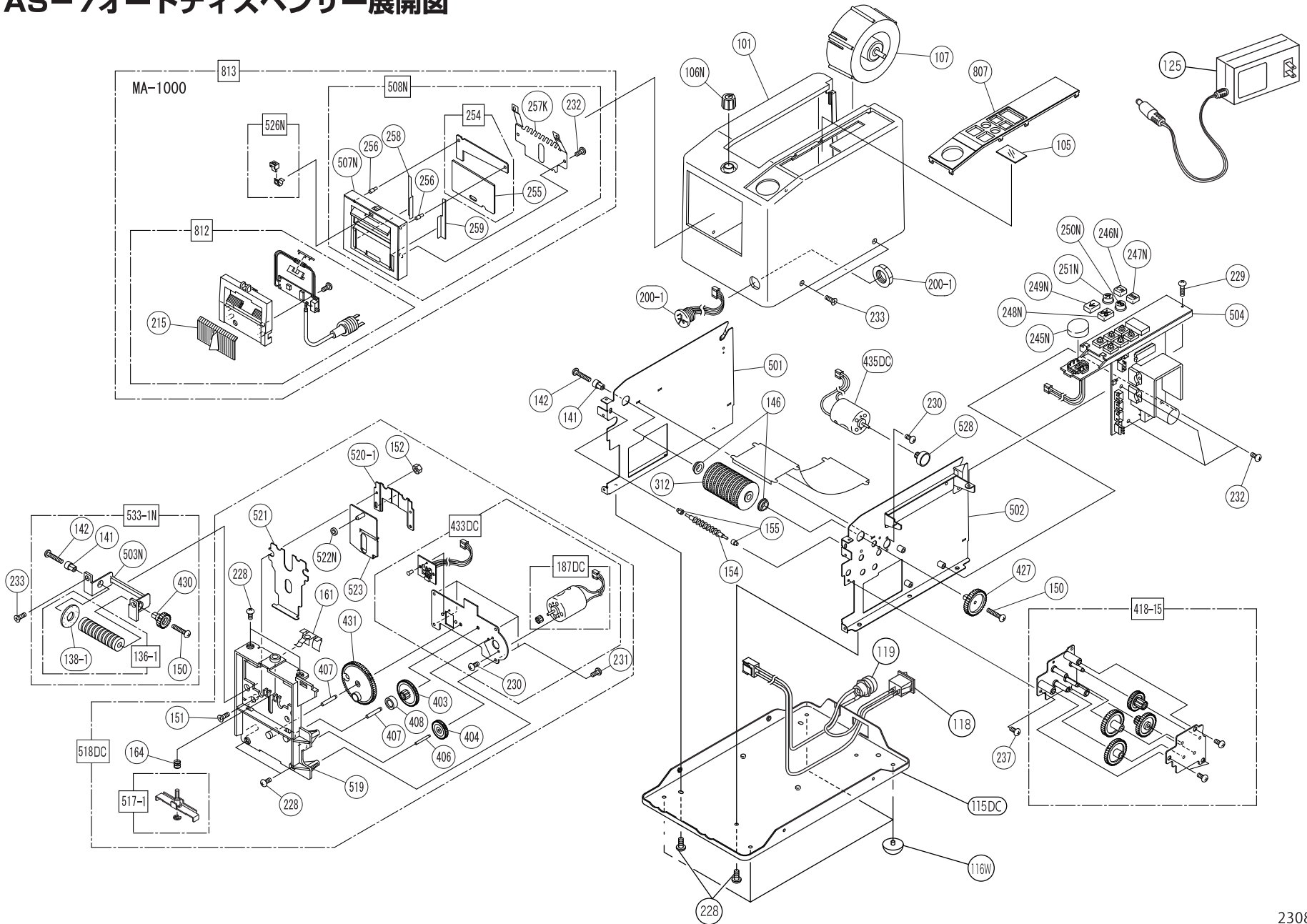


図2

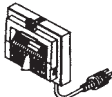
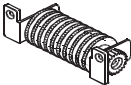
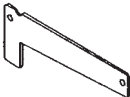

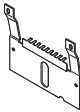


別売部品・消耗品

別売商品名・消耗品名		このような時におすすめします
カッター (替刃)		<p>カッターは消耗品です。切れにくくなる前に定期点検をおすすめします。</p>
剥離ローラーホルダーユニット		<p>剥離ローラーは消耗品です。定期交換をおすすめします。</p>
オートフィードカッターユニット		<p>センサーが故障することがあります。</p>
テープ押さえガイド		<p>細幅テープご使用のとき、またはセンサーから外れやすいテープなどのテープ蛇行防止に効果的です。</p>
シリコンオイル		<p>刃にテープの粘着剤がつくとき、粘着剤をよく取り除いてから、刃にシリコンオイルを塗布してください。</p>
弱粘着アタッチメント		<p>粘着力が弱いテープ、または特殊テープによりカット誤差が大きく発生する場合に効果的です。</p>
ライナーリムーバー (小・大)		<p>剥離紙を剥がしながらカットする時に使用します。</p>
細幅テープ用リール		<p>はばの細いテープセット時のよれを防ぎます。</p>

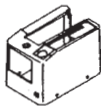





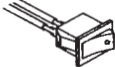




AS-7オートディスペンサー展開図










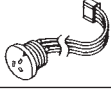



推奨常備パーツ





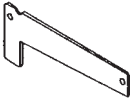
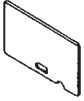

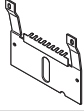


部品番号 Parts No.	部品名 Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight
813	オートフィード カッターユニット		MA-1000	125g
533-1N	剥離ローラー ホルダーユニット			66g
254	カッターセット			42g
255				
257K	カッタースプリング			12g
258	カッターライナー右			1g
259	カッターライナー左			1g





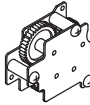


部品表

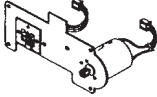



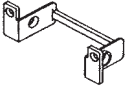
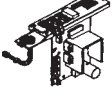


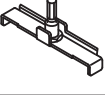


部品番号 Parts No.	部品名 Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight
101	本体カバー			290g
105	透明板			1g
106N	プレッシャーつまみ			2g
107	リールユニット			40g
115DC	底板(DCモデル用)			260g
116	足ゴムユニット			2g
118	パワースイッチ			5g
136-1	剥離ローラーユニット			60g
138-1	剥離ローラーリング			2g
141	ローラー軸			2g
142	タッピンナベ			1g







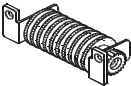
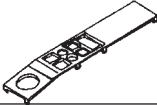

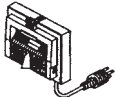
部品番号 Parts No.	部品名 Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight
146	軸受け			1g
150	タッピンナベ			1g
151	小ねじナベ			1g
152	ナット			1g
154	押さえローラー			10g
155	押さえローラーカラー			1g
161	カッターホルダー スプリング			3g
164	ラベル押さえ スプリング			2g
187DC	カットモーター ユニット-22			51g
200-1	3ピンコネクター			10g
215	密着防止プレート			3g

部品番号 Parts No.	部品名 Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight
228	タップタイトナベ			1g
229	タッピンナベ			1g
230	小ねじナベ			1g
231	タッピンナベ			1g
232	小ねじナベ			1g
233	タップタイト丸皿			1g
237	タップタイトナベ			1g
245N	オートボタン			5g
246N	スイッチボタン 1cm			2g
247N	スイッチボタン 1mm			2g

部品番号 Parts No.	部品名 Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight
248N	スイッチボタン カット			2g
249N	スイッチボタン 送り			2g
250N	スイッチボタン 20			2g
251N	スイッチボタン 戻り			2g
254	カッターセット			42g
255				
256	カッター止めシャフト			2g
257K	カッタースプリング			12g
258	カッターライナー右			1g
259	カッターライナー左			1g

部品番号 Parts No.	部品名 Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight
289	シリコンオイル			5.5g
312	送りローラー			186g
403	平歯車15			5g
404	平歯車16			2g
406	平歯車軸14			1g
407	平歯車軸13			3g
408	カラー2			6g
418-15	送りギヤユニット-15			62g
427	送りローラーギヤ			5g
430	剥離ローラーギヤ			2g
431	カッターギヤ2 ユニット			12g

部品番号 Parts No.	部品名 Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight
433DC	カッター部ギヤ カバーユニット-22			80g
435DC	送りモーター ユニット-22			75g
501	側板2左ユニット			155g
502	側板3右ユニット			175g
503N	剥離ローラーホルダー			5g
504	制御板ユニット			140g
507N	カッターホルダー2			26g
508N	カッターホルダー ユニット			80g
517-1	ローラー押さえ ユニット			15g
518DC	前面ホルダー ユニット-22			169g
519	前面ホルダー3			45g

部品番号 Parts No.	部品名 Parts Name	略図 Illust	備考 Note	重さ Weight
520-1	カッターレバー押さえ			10g
521	カッターレバーライナー2			20g
522N	カッターレバーシャフト カラー			2g
523	カッターレバー2 ユニット			23g
526N	オープンセット			8g
528	ピニオンギヤ2 ユニット			10g
533-1N	剥離ローラー ホルダーユニット			66g
807	飾りプレート			18g
812	センサーカバー3 ユニット			35g
813	オートフィード カッターユニット			125g

お手入れの方法

注
意



お手入れのときは、必ず、電源スイッチとセンサースイッチをOFFにして、ACアダプターをコンセントから抜いてください。誤ってキーを押した場合、作動すると危険です。

- オートフィード カッターユニット : テープの粘着剤が取れない時は、除光液やアルコールを布などにふくませて、拭いてください。カッター刃にテープが付着しやすい時は、刃の部分にシリコンオイルを塗布してください。
- 本体カバー : ABS樹脂製品です。乾いた布で拭いてください。キーの部分やオートフィードカッターユニットに水分がからまないようご注意ください。
工業機械油・シンナー・ベンジンで拭きますと、破損、変質するおそれがあるので、使用しないでください。

保守・点検・サービス

- 安心してご使用いただくために、定期的な点検をおすすめいたします。
- カッター刃・はくりローラーホルダーユニット・オートフィードカッターユニット・カッタースプリング・カッターライナー(右・左)・シリコンオイルなどの消耗品は、予備品を常備しておくことをおすすめいたします。
- 故障の際は、P34の保証規定により、アフターサービスを承ります。
- 原因不明の走行不良などの場合は、本体と一緒にご使用のテープ見本を1巻お送りください。より早く正確な究明に役立ちます。

本製品は、一般的なテープに対応できるよう設計されておりますが、全てのテープに対応できるものではありません。

特殊なテープの場合は、販売店または松山事業所へご相談ください。

松山事業所 ☎0120-22-3940

月曜～金曜 午前8:45 ～ 午後5:00

長年ご使用のテープカッターの定期点検を!

このような
症状は
ありませんか

- スイッチを入れても、ときどき運転しないことがある。
- DCプラグを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- 運転中、異常な音がる。
- 本体が変形したり、異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- その他の異常、故障がある。

お願い

このような場合は事故防止のため電源スイッチを切り、コンセントからACアダプターを抜いて、必ず販売店に点検・修理(有料)をご相談ください。

仕 様

品 番	AS-7
表 示	3桁 LED デジタル
使用可能テープ幅	7~50mm ※幅7~30mm以下のテープの場合はテープ押さえガイド(別売)のご使用を推奨いたします。
テープの長さ設定範囲	20~999mm
適用 リール	3 インチ (φ76mm)、φ35mm、1 インチ (φ25mm)
適用テープ外径	(最大) φ170mm
適用テープ種類	セロハンテープ、メンディングテープ、クラフトテープ、布粘着テープ、PPテープ、片面剥離紙付き両面テープ、フィラメントテープ、クレープテープ等。 ※ただし、著しくカールする、粘着力が強い、展開力が強い、色が黒い、透明度が高い、薄い、滑る、静電気が起きやすいテープは対応できない場合があります。
駆 動	テープ送り、自動カット:DCモーター
消 費 電 力	18W
本 体 仕 様	DC 18V 1A (専用アダプター使用)
ACアダプター仕様	電源(入力・出力) : AC100~240V 50/60Hz 1.5A ・ DC18V 2.5A コードの長さ : 1.8m
使用可能照度	・蛍光灯 : 3,000lx以下 ・LED照明 : 10,000lx以下 ・太陽光 : 10,000lx以下 ※屋外での使用はできません。
使用温度・湿度	5℃~40℃ 湿度 80% RH 以下
外形寸法(W×L×H)	137×245×156mm
質 量	約 2.2kg ※アダプター、リールを含む
材 質	本体カバー: ABS樹脂 側板・底板: 冷間圧延鋼板 カッター: 片面フッ素コーティング
生 産 国	日本国

※テープの種類・環境により異なりますが、寸法誤差±2mm程度生じる場合があります。
推奨する素材でも特性により使用できない場合があります。

※予告なく仕様、外観の変更をする場合がございます。

保証書

保証規定

- 保証期間内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で万一故障した場合は、お買上げ販売店、または当社が無料修理いたします。
- 次のような場合は、保証期間内でも有料修理になります。
 - 本保証書のご提示がない場合。
 - 本保証書の所定事項の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の輸送・落下等による故障及び損傷。
 - 火災・地震・風水害その他天災地変による故障及び損傷。
 - 異常電圧・指定外の使用電源(電圧・周波数)による故障及び損傷。
 - 特殊なテープの使用による、走行不良・カット長の異常。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。

ニトマチック オートディスペンサー保証書

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本保証書記載内容により無料修理いたします。(ただし、カッター、はくりローラーは除きます。)
修理はお買上げの販売店又は当社に、必ず本保証書をそえてご依頼ください。

品番 AS-7

品名 オートディスペンサー

製造番号

保証期間 お買上げ日より6ヶ月

年 月 日 ~ 年 月 日

お客様

ご住所 〒

電話番号 () -

お名前

様

販売店

住所・店名・電話番号

印

日東電工CSシステム株式会社 松山事業所

〒799-2425 愛媛県松山市中西外1057番地1 フリーダイヤル 0120(22)3940

(お買上げの際、販売店で必ずご記入ください。)

コピーしてご使用ください。

依頼をされる前に再度、取扱説明書の「こんなとき」を確認してください。
お手数ですが、適切な修理のため下記の必要事項を記入いただき、製品と一緒に送ってください。



日東電工CSシステム(株) 松山事業所 宛

貴社名	ご担当者名
ご住所	
電話番号 () -	

販売店様名

AS-7 修理依頼書

製造番号	
------	--

ご使用されているテープ

種類	使用の有無	種類	使用の有無	種類	使用の有無	種類	使用の有無
セロハンテープ		クラフトテープ		布テープ		PPテープ	
両面テープ (厚み0.5mm以下)		フィラメントテープ		クレープテープ		*その他テープ	

*その他テープをご使用されている場合は、現物を1巻同封ください。

メーカー名 () 品番 ()

不具合の内容

症 状	発生の有無
テープが出てこない・詰まる	
カッターが切れない	
テープの長さが設定とおりに切れない	
自動送り(オートフィード)にならない(手動送りはできる)	
自動送り(オートフィード)が止まらずに、テープが出続ける	
電源は入るが、どのスイッチを押しても動かない	
手順どおりにErr表示の解除をしてもリセットされない	
上記以外	